

鹿島臨海工業地帯の競争力強化に向けた 将来ビジョンを改訂しました！

- 鹿島臨海工業地帯の主要産業である基礎素材産業においては、国際競争の激化や事業拠点再編・集約化の進展、世界的な脱炭素化の流れなど、事業環境は大変厳しい状況にあり、一方で、AI・IoT・ドローン等の技術の進展により、コンビナートの保安や生産のあり方も変革を迫られております。
- こうした状況を踏まえ本県では、令和3年3月に「鹿島臨海工業地帯の競争力強化に向けた将来ビジョン」を策定し、推進期間5年にわたり各種施策を推進してまいりました。
- このたび、本ビジョンが改訂時期を迎えることから、カーボンニュートラルへの対応やDX・スマート化の推進等、現在のコンビナートを取り巻く状況に対応した施策内容へ見直しました。
- 今後も引き続き、本ビジョンに基づき、企業と行政が目指すべき方向性を共有し、同工業地帯の更なる競争力強化に取り組んでまいります。

1 改訂後の将来ビジョンの3つの推進事項

推進事項は、環境負荷の低減と持続可能性の確保を目指す「**カーボンニュートラルを見据えたGX産業の創出**」と、生産性の向上や技術革新を促進する「**DX・スマート化の推進**」の2本柱とし、企業の安定的な事業活動の継続を支える「**生産基盤の向上及び競争力の高い生産体制づくりの推進**」にも取り組み、各推進事項が相互に補完し合うよう取組を進めてまいります。

推進Ⅰ カーボンニュートラルを見据えたGX産業の創出

推進Ⅱ DX・スマート化の推進

推進Ⅲ 生産基盤向上・競争力の高い生産体制づくりの推進

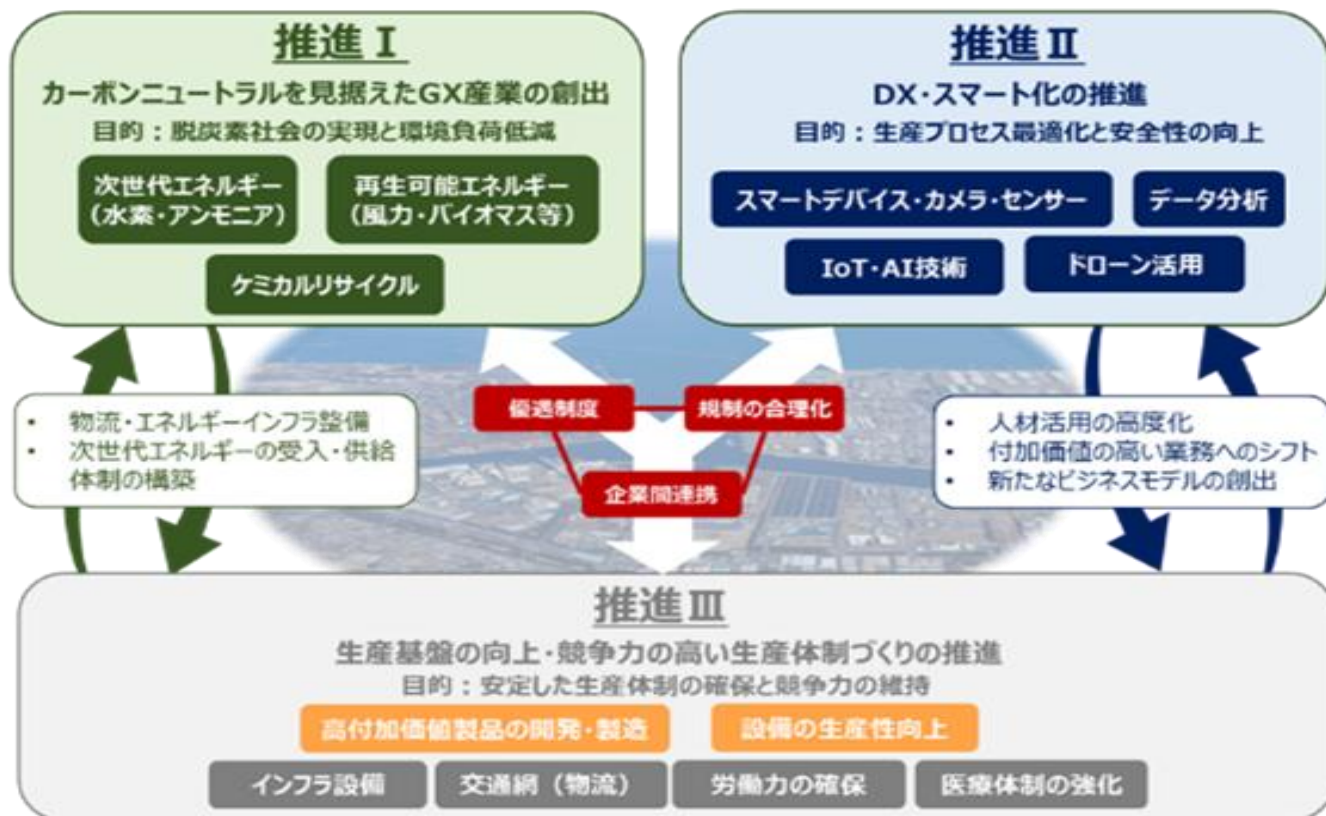
※取組の詳細は下記4もしくは県公式HPを参照ください。

2 策定経過

令和8年1月22日 鹿島臨海工業地帯競争力強化推進会議において審議

2月 2日 鹿島臨海工業地帯競争力強化会議において審議

3 改訂後の将来ビジョンイメージ



4 各推進項目の内容

推進Ⅰ カーボンニュートラルを見据えたGX産業の創出

水素・アンモニアの活用による次世代エネルギーサプライチェーンの構築に向けた取組のほか、プラスチック資源循環を進めるケミカルリサイクルやバイオマス等を活用したグリーンケミカルの実用化等、新たな産業創出に向けて取り組んでいく。

推進Ⅱ DX・スマート化の推進

施設や設備の高経年化、維持管理等に従事する労働力不足や高齢化の進展、定修期間の長期化等が課題との認識のもと、これらを解決する手段として、スマート保安導入の促進となる取組を実施してきた。今後さらなるDXの取組を推進するため、DX推進検討会を発足し、各企業のDX導入促進に向けた検討を実施し、より官民連携した取組支援を行っていく。

推進Ⅲ 生産基盤の向上・競争力の高い生産体制づくりの推進

企業で引き続き競争力の高い生産体制づくり、高い付加価値を生み出す取組を進めるために、企業の生産活動に欠かせない、安定したインフラ設備や労働力の確保、医療体制の強化等について取り組んでいく。



▲詳細は県公式HPをご覧ください。

〈お問合せ先〉
茨城県 政策企画部 地域振興課 鹿行地域担当
担当:関・塚田
Tel:029-301-2730
E-mail:chikei3@pref.Ibaraki.lg.jp